

俺らが住む町

茨城県の土浦市に住んで40余年が過ぎました。

土浦市は水戸街道の宿場町であるとともに、城下町として栄え、初代藩主土屋数直以来11代にわたり、土屋家が明治維新まで約200年間、城主として君臨しました。土浦城は駅から10分程で市内の中心部にあり、別名を「亀城(きじょう)」と呼ばれています。現在は、本丸と二の丸跡が亀城公園となって残っています。亀城とは外堀の形が水に浮かぶカメに似ていることからこの名が付いたといわれています。

公園内には土浦家所蔵の甲冑や刀剣、銃砲、茶器や文書などを納めた博物館があります。

明治維新の際、廃藩置県によって各地の大名家の家

宝の多くは散逸した例が多かった中で、土浦の場合は、土屋家から市に一括して移譲されており、これは極めて異例なことだと評価されています。

城跡のすぐ近くに、江戸時代に建築された呉服商「大徳」と「野村」の店舗があります。いずれも土蔵造りで、敷地内に見世蔵、袖蔵、元蔵、向蔵などに分かれて建ち、当時の客の出入りや商家の暮らしぶりが伺われます。

また古い建物の一つに旧制土浦中学校(現在の県立土浦一高)の校舎があります。明治27年の建築でゴシック様式の木造校舎は国の重要文化財に指定されています。

さらに土浦市に隣接する阿見町には大正9年から有

先崎 昌之

(仲町出身/千葉県支部)

名な予科練の航空基地が置かれ、昭和20年の終戦まで多くの特攻隊を送り出した。現在は、自衛隊の武器学校となり、その一角にある記念館には、戦地に赴く若い兵士の遺品などが展示されています。

市の行事で挙げるとすれば、何と言っても「全国花火競技大会」です。新潟の長岡、秋田の大曲と並び、土浦の花火は全国三大花火の一つに数えられ、市の人口14万の街に、毎年70万の見物客が押し寄せる一大イベントです。皆さん、機会がありましたらぜひお越しください。



休日当番医のお医者さん

月日	当番医	所在地	電話番号
6/16(日)	奥秋医院	田村市(船引町)	86-2034
23(日)	石塚医院	小野町	72-2161
30(日)	青山医院	田村市(常葉町)	77-2015
7/7(日)	西山医院	三春町	62-2473
14(日)	秋元医院	田村市(船引町)	82-1514
15(月)(祝)	総合南東北病院附属 滝根診療所	田村市(滝根町)	78-2442
21(日)	清水医院	田村市(船引町)	82-3535
28(日)	三春病院	三春町	62-3131

*電話確認の上、受診してください。
詳しくは「福島県総合医療情報システム」の「休日当番医」をご覧ください。

福島県総合医療情報システム 検索



バーコード認識機能で、携帯電話から「福島県総合医療情報システム」をご覧ください。

子ども救急電話相談

毎日、19:00~翌8:00
プッシュ回線・携帯電話からは#8000
アナログ回線からは☎024-521-3709
詳しくは「子どもの救急について」をご覧ください。

福島県 子どもの救急 検索